

新しい委員長・委員長職務代理者を紹介します

教育委員会臨時会が8月19日に開かれ、委員長に八木雅之さん(足川)、委員長職務代理者に小倉和也さん(高生)がそれぞれ選ばれました。

さらなる読書活動の充実を図る

旭市では3人の「学校図書館司書」が、市内小中学校を巡回し、学校図書館(学校図書室)の専門的事務に従事しています。

主な仕事／●学校図書館の整備 ●学校図書館図書の貸借支援 ●本の紹介などの広報活動 ●新規購入図書のアドバイス ●児童生徒への読み聞かせ ●図書に関する校内掲示物の作成など

学校図書館司書が巡回するようになったのは、昨年度からです。それ以前と比べると、図書館の風景が変わったと子どもたちに好評です。

例えば、季節の行事に合わせ「お勧めの本」を紹介しています。本を図書館に展示することで、子どもたちが本への興味・関心を持ち、読書の幅を広げていきます。また本の紹介・推薦をするコーナーを設けたり、子どもたちと一緒に読書推奨する掲示物を作ったりして、魅力ある図



季節の行事に合わせた本を展示



子どもたちと一緒に作る読書推奨の掲示物

書館の環境整備を図っています。

そのほか、学校全体の読書環境も整備しています。

例えば「図書館クイズ」と称して、学校の図書館にある本の内容からクイズを作り、それを廊下に掲示しています。クイズに答えるためには本を読むことが必要になり、自然に子どもたちの足が図書館へと向かうこととなります。図書館内のどの書棚にあるのかも示してあるので、簡単に本を見つけることができます。こうして、子どもたちを読書の世界へいざなっています。

全国学力・学習状況調査では、一日30分読書をする子どもは、全くしない子どもより、正答率が高いという結果も出ています。旭市では、子どもたちがより一層読書に親しむことができる学校図書館の環境整備を推進するとともに、学校での読書活動の充実を図り、読書好きな子どもを育成していこうと考えています。

秋の夜長、テレビを消し、ゲームをしまい、家族そろって、または一人でじっくり、読書に浸ってみてはいかがでしょうか。

校長リレーエッセイ 3



地域での学び

—飯岡の地に育つ子どもたち—

飯岡小学校長
平野 一男

飯岡の歴史は、海岸侵食との闘いといっても過言ではなく、多くの伝承や史実があります。

昭和5年12月、高潮の怖さを体験した2人の本校児童が、海岸に飯岡石を積み上げて侵食を食い止めようと「波止」を築き始めます。やがてその行為は、全校児童の参加する活動となり、講談社発行の雑誌「少年倶楽部(昭和7年正月号)」に学校美談「我らの波止」として掲載さ

れ、全国に紹介されることとなりました。今、海岸で飯岡石を見ることはなくなりましたが、我らの波止の精神はしっかりと受け継がれています。

今年7月には、昭和33年に始まった海岸清掃の取り組みが認められ、平成26年「海の日」表彰式において「海をきれいにするための一般協力者」として、国土交通大臣表彰を受賞することができました。東日本大震災による中断もありましたが、この活動は57年の長きにわたるもの。受賞は、飯岡小に学んだ多くの卒業生と保護者、そして地域の皆さんが、共に協力して取り組んできた飯岡ならではの意義ある活動への「ご褒美」だと考えます。

飯岡の地に育つ子どもたちにとっての海岸清掃は、海を身近に感じる貴重な奉仕の体験活動であり「地域を知り、郷土を愛するための学び」と位置付けることができます。我らの波止への思いとともに、地域に根差した大切な教育活動の一つとして、海岸清掃を今後も続けていきたいと思っています。